



市会議員（日本共産党）

**小原 明大** おはら  
あきひろ

市会議員（日本共産党）

**すみだ初恵**



みなさんのご支援で、長九校区からもう一人、市会議員が誕生しました！  
力をあわせてがんばってまいりますので、よろしくお願ひします！

5人から6人になった

**新しい議員団でがんばります!!**



議員団の委員会配置

常任委員会

※今年10月の議会  
役員改選まで

総務産業：浜野

建設水道：藤本、小原、住田

文教厚生：武山、野坂

特別委員会

まちづくり・公共交通：浜野、野坂

環境：武山、小原、住田

公共施設：藤本

新しく  
日本共産党議員団の  
一員となりました。  
がんばります。



すみだ初恵

今年1月に市長選挙と同時投票で行われた市会議員補欠選挙の結果、日本共産党議員団は、住田初恵議員が新たに加わり、6人となりました。議席占有率が1/4となったので、単独での議会招集権とすべての委員会で2人配置できる人数になりました。

「地方創生」といいながら、暮らしも生業も壊すアベノミクスこそ、地方の衰退を加速する原因です。

国の政治にもものを言い、命と暮らしを最優先にする市政に。

ますますみなさんの声に根ざしてがんばります。



6人の議員団で、東京都日野市・練馬区に視察(2月9・10日)

Photo by 武山

**小田市政から中小路市政に。市民の立場で市政運営を**

日本共産党は、市民の暮らしを守る立場で議会での質問や提案をしてきました。これまでの市政では実現できた市民要求もありますが、全体としては、福祉・教育を削り取る「行革アクションプラン」を推進してきました。職員を減らしてきたために、市民の相談や要望に対応が追いつかない現状が進んでいることとあわせて、市役所本来の役割を外部に委ね、目標を遥かに超えた「財政調整基金」を積み増す市政と財政の運営となってきました。

中小路新市長には、8万市民の立場に立つ具体的施策を求め続けていきます。

# 高齢者の安心のために市独自で充実を！

## 介護用の紙オムツ代支給制度の購入店が増え、利用数もアップ

住民税非課税世帯の介護を支える介護用の紙オムツ代助成は、市の指定する購入店が少なかったり月15日以上在宅介護することが条件など、使いづらさがあり、利用件数が市の見込みを下回っていました。党議員団が改善を求めてきたところ、今年度から購入店がこれまでの4店から12店に大幅に増え、利用件数も伸びています。

一方この制度は、平成22年度に支給額が2割カットとなりました。介護や低所得世帯への支援は財政効率化の名のもとで削ってはいけないと党議員団は指摘しています。

## 配食サービス、家族がいても日中は一人のケースも対象に

党議員団は、高齢者の配食サービスの向上を求めてきました。その中で今年度から、要介護の高齢者や障がいのある人を対象に市が行っている配食サービスも、同居家族が仕事などで家にいない昼間に利用できるようになり利用件数が伸びました。

一方、ボランティア団体や民間事業所が行っている配食サービスは、全額自己負担です。市の事業と同様に市が補助するよう、引き続き求めていきます。

## 認知症の人の行方不明をふせぐ市の体制強化を

長岡京市には、行方不明になった認知症の人が早期に見つかるようにと、おでかけあんしん助成事業(GPS利用助成)があり、GPSでの徘徊者搜索の模擬訓練なども行われていますが、あまり利用されていません。インターネットの使い方が分からない、費用がかかるなどの課題があるためです。検索の協力体制や助成の増額、事業の周知など求めました。

## 京都府が 老人医療助成制度を改悪 65～69歳、窓口負担増

国の医療制度の改悪で、70～74歳の窓口負担を1割から2割へと引き上げていることに連動して、京都府が今年4月から府独自の医療費助成を縮小・改悪する方針を出しました。

内容は、65～69歳の窓口医療費を現行3割負担を1割負担に軽減している「府老人医療助成制度」を、2割負担へ引き上げ、対象者も世帯全員が所得税非課税と限る、というものです。

医療費の1割負担はむしろ74歳まで拡充すべきで、早期発見・早期治療を抑制しかねない国・府の改悪には強く反対です。

## 子どもの医療費助成は拡充へ

京都府は子育て支援医療助成制度の対象年齢を中学校卒業まで拡充し、入院月200円、通院3歳未満月200円、3歳以上月3000円とします。日本共産党は府全体で中学校卒業までの完全無料化をめざしています。

## 幼稚園・保育所保育料 第3子以降は免除に

京都府が第3子以降に対し、幼稚園(推定年収約680万円まで)・保育所(推定年収約640万円まで)の保育料免除制度を創設します。

## 阪急西山天王山駅前

# 安全に歩ける対策を！



阪急西山天王山駅が開業して1年が経ちましたが、市民の皆さんが安心安全に通行や走行ができるための整備が必要です。

駅西側歩道橋や歩道橋下交差点の歩行や自転車走行の問題点、調子八角交差点の安全には、スクランブル交差点の提案や、東西へと右折する矢印式信号機の早期設置、視覚障がい者に配慮した音響信号機の設置、また、駅西側の歩道橋における防犯灯の整備設置など、この他数ある市民からの要望を実現に向けて求めました。

事故があつてからでは遅いので、安全安心の早期対応が求められます。

## 歴史的な大改悪!! 国に声をあげ、必要な介護サービスの保障を

介護保険法の改悪とあわせて強行された医療・介護総合法案で、制度と報酬が大きく後退、要支援の人の訪問・通所サービスは保険制度から切り離して、市町村に丸投げされます。

党議員団は9月・12月議会で国の介護制度に対する市の立場をただしました。利用者にとって不利益にならないこと、国は訪問介護はボランティアでもできるとしているが、それでは専門性が担保できないのではないか、などを指摘し、介護を必要とする利用者へ寄り添う事業の充実を求めました。

## 教育委員会制度改悪と 道徳教育の教科化で何をめざすのか？

安倍内閣は「戦争できる国づくり」へ、集団的自衛権行使・秘密保護法・教育委員会制度改悪と進めてきています。また、お国のために血を流せと教え込み若者を戦場に送ってきた戦前の過ちを認めず、道徳の教科化によって「国の特定の価値観」を押し付けようとしています。これを「時代の流れ」として黙って受け入れるのかと、教育委員会の姿勢をただしました。

教育の根幹は、子どもの成長・発達のための文化的な営みです。特に、道徳性の評価は「人格評価」であるだけに、極めて慎重な配慮が必要であり、現実の生活に即して、教職員と人間的な触れ合いを通して、子ども達が自分の頭で考えながら培っていけるような教育環境と条件づくりにこそ教育委員会の責務があると指摘しました。

## 議員一時金報酬 引き上げ反対

12月議会に出された議員一時金報酬引き上げ案に党議員団は反対しました。

国民の実質賃金は一昨年9月以降連続マイナスであり、官民を問わず大幅な賃上げが必要な状況であり、人事院勧告制度の主旨からも、市役所職員の給料や手当の改正は当然に必要な立場です。

しかし、あえて議員報酬の改正の必要性はないと判断し反対しました。

# くらしのご相談・ご希望お気軽にお寄せください

税金・・・  
保険料・・・  
保育・・・  
生活・・・  
雇用・労働・・・  
ローン・・・



**小原 明大**

東神足1丁目6-6

TEL.&FAX. 957-7142

おっはー

検索



**すみだ初恵**

神足芝本16-2

TEL.&FAX. 953-5081

公園の植え込み  
を砂場に変更→



←水たまりの水を  
水路に逃がす

段差の改善&土手  
のへりに反射材を  
つけて転落防止→



**みなさんの声 予算の  
審議に生かします！**

党議員団は、市民のみなさんの暮らしの声をおききしながら、市の予算・提案を調査して議会にのぞんでいます。

## ご希望、ご意見をお寄せください。

党議員団(直通)電話955-9551 FAX955-9741

e-mail jcpnagaokakyo@gmail.com

日本共産党長岡京市会議員団

検索

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話